

夏休み：第42回運動会特集

～児童生徒の作文②～

校長 森 勝義

小学校最後の運動会

6年2組 池田菜々音

9月の終わりに私の学校の運動会が行われました。小学校最後の運動会、私は楽しみにしていました。私は白組でした。開会式の後にすぐに徒競走がありました。5, 6年生は、100M走るの、少しゴールまで遠く感じました。私の番が来た時、とてもドキドキしました。しかしスタートで失敗し、全力を出せずに終わってしまいました。ものすごくくやしかったです。

午後の部の目玉は、おしりでバンバンです。スタートして最初はいい感じで行けたのですが、風船を割るのにこずって、全然思い通りに行きませんでした。

ですが最後のリレーで高校生や中学生の先輩たちがとても速くて、ものすごくかっこよかったです。そのリレーで決着がつき、閉会式で、「白組の勝ち」と聞いてとてもうれしかったです。暑くていろいろあった小学校最後の運動会でしたが、楽しかったです。

運動会で印象に残った場面

6年2組 音琴日菜

私が一番印象に残った場面は、競技ではなく応援の方でした。なぜかと言うと、応援が一番みんなが一つになった気がしたからです。中でも一番すごかったのは、リレーの時でした。白組も赤組も応援の声を一層張って、ドキドキしてしまうほど白熱していました。

結果は白組が勝ちましたが、赤組も白組もみんな応援をふくめて、がんばっていて、とてもいい運動会だったと思いました。

日本でのぼうけん

4年1組 梅田 惇平

僕は今年の夏、日本に一時帰国してきました。まず、神奈川県、海老名市に行きました。そこには、おばあちゃんとおじいちゃんがあります。海老名で一番楽しかった事は、スシローに行った事です。スシローでいっぱい食べました。一番アメリカで食べたかったすしは、いくらです。なぜかと言うと、アメリカにはないからです。そしていくらが一番すしの中ですきだからです。スシローに2回行きました。

海老名では、いろいろな場所へ行きました。さいしょに、かまくらに行きました。お父さんとぼくと、弟で行きました。さいしょは、大ぶつに行って次は、神社に行きました。大ぶつは、思ったより小さかったです。外国からの人がいっぱいいて、とくにかん国からの人がいっぱいいました。神社の近くにかき氷屋さんがあったので、そこによってみました。ぼくは、レモン味のかき氷を食べて、弟はいちご味にしました。

海老名でのさい後は、箱根のホテルに行きました。アメリカとのちがいは、広いということです。ホテルには、温泉があったので、毎日1回は、入りました。温泉には、ふつうの湯、水ぶろ、よくぶく温泉、外の温泉がありました。

海老名に続いて、次に茨城県の水戸市に行きました。そこには、もう一方のおばあちゃんと

おじいちゃんがいたので、会えてよかったです。茨城で一番楽しかった事は、水族館に行った事です。水族館で真じゅを本物の貝から取り出しました。真じゅは大きくてブルーホワイトできれいでした。そして真じゅはつつるでした。
本帰国の時も同じ事をしたいです。

5年1組 吉原 和玖

ぼくは、すし職人のおじいちゃんにその仕事についてインタビューをしました。

ぼくのおじいちゃんは、そんけいしていた先輩がおすしをにぎっていたのを見て、カッコいいな、と思い、自分もやりたいなと思ってすし職人になったそうです。

どうしてぼくがおじいちゃんにインタビューをしようと思ったかという、この夏、日本に一時帰国をしたときに、おじいちゃんがつくるおすしを食べに行き、にぎってくれたおすしがとてもおいしかったからです。

おじいちゃんに、どういうときが一番楽しいと感じるかをたずねると、「自分がにぎったおすしをお客さんが食べて喜んでくれるときが一番楽しいと思う。」と話してくれました。また、やめたいと思ったことは一度もないそうです。

それを聞いて、人のためにがんばっておすしをにぎることができるおじいちゃんがすごいな、カッコいいな、とぼくは思いました。

「お父さんの仕事」

5年1組 西藤 蒼生

私はお父さんの仕事について発表します。私のお父さんはNSK プレシジョンアメリカという会社で働いています。私がお父さんの仕事の事をインタビューした理由は、いままで仕事について聞いても「いつもパソコンをさわっているだけ。」としか教えてくれないので、宿題のためと言ったらきちんと答えてくれると思ったからです。

私は、最初にお父さんがいつからこの会社で働いているのかを聞いてみました。お父さんは2012年からこの会社で働いているそうです。次にこの会社で働いたきっかけをきいてみると、家から近かったから、とのことでした。しかし、今は外国で働いているから、計かくがくるったとも思っているそうです。最後に楽しいことをきくと、色々なところに出ちょうに行つてご当地グルメを食べたりすることが楽しいとのことでした。

私は、このインタビューをとおして、お父さんみたいに出ちょうに行つて、ご当地グルメが食べてみたいと思いました。また、私が生まれる前からNSKで働いていることがうらやましいと思いました。私も大人になったらきちんと就職して仕事をしたいと思いました。

◎10月4日 <投稿作品> 土曜パラダイスで紹介

小学3年1組	夏井坂ゆいか	「はじめての ハロウィン 楽しみだ」
小学3年1組	浅野 礼奈	「もうすぐで ハロウィンで 楽しみだ」
小学3年2組	後藤 楓	「ハロウィンの かそうはやつぱり バッキーズ」
小学6年1組	野中 準矢	「きのこだよ どんなみためも 秋の旬」
小学6年1組	井田 大葵	「あきのなか タケノコキノコ きのこの山」
小学3年2組	読み人知らず	「生徒らと 競つて集める ひげ森しおり」
小学6年1組	職員	「もりえもん 次はキノコの 山がいい」
小学6年1組	小澤 玲奈	「平日に 補習校なら うれしいな」
小学2年2組	深川 いつき	「はしの はしを はしる」
小学2年2組	読み人知らず	「おおかみが トイレに行つて おおかみがねー」
小学4年2組	遠山 聡甫	「ゆでたまごをゆでた 孫」
小学4年2組	濱石 実咲	「つるが つるんと すべった」